

(担当：子ども家庭部 青少年若者課 館ヶ丘児童館)

### 事業の背景・目的

#### 〈YouTube 発信の経緯〉

コロナ禍において八王子市の児童館は、利用者の心のよりどころとなるために、児童館職員が天狗や忍者に扮し、児童館の紹介やメッセージ、クイズ、家でできる遊びや工作などを YouTube で紹介してきました。この流れの中で、今度は児童館を利用している子どもたちが「主役」として動画発信できるよう模索し、今回の実施に至りました。

#### 〈事業の目的〉

- ・コロナ禍における、子どもたちにとっての新しい自己実現の場をつくる。
- ・児童館 YouTube を、日頃利用している子どもたちが主体的に発信することにより、自分達の居場所について考える機会とする。

### 事業の概要

#### 〈ダンス発表〉



ダンス発表動画 ↑



#### 1 経緯

館ヶ丘児童館では、ここ4年、ダンスクラブの発表会を行っています。令和2年度の臨時休館中に、併設学童保育所の小学生たちから「ダンスやりたい」という要望がありました。開館後にダンス事業を再開しましたが、発表が厳しい状況です。そこで、児童館活動紹介の YouTube 発信にダンスの様子を加えることで、感染防止対策下でも、子どもたちの自己実現の場を保障することになりました。

#### 2 撮影に向けて

11月の撮影に向けて9月に練習を開始。流行りの曲ということもあり、今回は小学生の男子が多く参加してくれました。振り付けが覚えられず泣いた小学2年生の女の子は、家で練習してくるという情熱ぶり。家庭の都合で予定が合わず、そろって練習ができない時は、個別レッスンを行いました。高学年が低学年に教えるレッスンの基盤があるので、4歳児も参加出来ました。自分が好きな曲だと、リズムが身体に入りやすくなり、楽しく続けられるようです。撮影が近くなってきた頃、衣装の「剣」を持って踊ると、さらに子ども達の目が輝き、踊りにメリハリが出てきました。後半は、小学生たちが考えた振り付けを取り入れました。また、ボーカルの小学生は、撮影4日前の来館時に、外で歌っていたところをスカウトすると、毎日練習して本番に臨んでくれました。日頃の利用者の生き生きとした表情が、この動画で伝わるとと思います。

## <中高生による児童館のいいところ紹介>



中高生による児童館

のいいところ紹介↑



### 1 経緯

連日感染者数が多いため、児童館は利用制限をしています。一方で、本当に「しんどい子」のためには、家でも学校でもない第三の居場所としての機能の維持も必要です。そこで、児童健全育成推進財団の自殺予防週間に向けた取り組み「いましんどくなっている子へのメッセージ『じどうかんもあるよ』」を加え、親近感が持てるような動画を中高生とともに発信することにしました。

### 2 撮影

「児童館のいいところ」を、中高生が主役となって紹介する動画を作成するにあたり、試行錯誤を重ねました。

「じどうかんもあるよ」の趣旨を中高生たちに伝え、動画の話をしたところ、「いや、いいです」「顔出し NG なんて」と即決で断られながらも、根気よく声をかけ続けました。「前から YouTube に出てみたかったの」と嬉しそうなお子もいます。背中のみで映るのはどうか？台本や編集の相談ならどうか？と話し合い、皆それぞれに納得した形で演出しています。中高生のアイデアはとても柔軟で、素敵なメッセージ動画になりました。メッセージの文字の大きさや、シャボン玉の出来はご愛敬です。撮影の後日に、「メッセージカードを作成している様子」を自作動画にして持ってきた高校生がいて、今回は動画編集の監督をしたいそうで、今から楽しみです。

### 工夫点・留意点

#### <ダンス発表>

- (1) 振り付けの難易度を考慮し、子どもたちから意見を聞きながら、簡単すぎず難しすぎない振り付けを工夫し、創っていきました。
- (2) 感染症拡大防止のため、振り付けには“ペア”“交差”を入れず、メンバー間の距離を保ちました。
- (3) YouTube で発信されることを保護者に承諾をいただきながら、家庭でも撮影への機運を高めてもらいました。
- (4) 使用音楽については、著作権の観点から職員による生演奏にしました。

## <中高生による児童館のいいところ紹介>

常連利用者の中高生は、日頃から「児童館の為に、なにか協力したい」という意識が高いです。その気持ちを慮り、動画は残るものだから、頑張りすぎず、楽しんで、「どんな参加の仕方でもいい」と伝え、撮影しました。

## 事業の効果

小学生のダンス発表や、中高生による「じどうかんのいいところ」紹介を YouTube 発信することにより、コロナ禍においても、子ども達の自己効力感や自己肯定感が醸成できる活動を行えることが分かりました。また、参加した中高生たちにとっても、児童館に自分がどんな想いをもっているのか、考える機会となりました。

完成した動画を観て、「次は編集やってみたい」と言ってくる子もいました。児童館を利用する子どもたちの「やりたい」と思っていることを、これからも形にしていきたいと考えます。

## 課題・今後の展開

八王子市の児童館の情報（動画）発信担当として、将来的に今後取り組みたいことは、

- 児童館の行事紹介動画などを子どもの実行委員会形式で企画する。
- 中高生の活動を中高生自身が紹介・発信する。

です。子どもの自発的な活動を尊重し、今後は、子どもたち一人ひとりが活躍できるような「居場所」に展開していけたらと、考えています。

## 八王子市の児童館プロフィール

|            |  |
|------------|--|
| 運営主体       | 八王子市（直営） 12館（うち2館は分館）  |
| 職員体制（各館）   | 常勤3名 非常勤2名（分館は非常勤3名）   |
| 開館日・時間・休館日 | 開館日 月曜日～土曜日、第4日曜日<br>時間 10:15～19:00 第4日曜日のみ 9:15～18:00<br>休館日 第4日曜日を除く日曜日、祝日・休日、年末年始<br>分館は月曜日～土曜日<br>時間 13:00～18:00（土曜日と三季休業時は 10:15～18:00） |